あさがくナビ 朝日学情ナビ 2016
企画・制作：学情、朝日新聞社教育総合本部
問い合わせ：学情 03-5777-2931

朝日新聞
採用PR特集
2015年7月掲載

つかもう！キミの未来

新卒採用では出身学部を問わない。先輩が1から指導し、世界のKOGANEIのエンジン作りを学ぶ

Close up　人材　店舗　商品　サービス

北條 元　研究開発部員（26）

入社3年です。クルマ関係の仕事を探していて、たまたま親類が新聞で小金井精機製作所の記事を読んで、「F1やモトGPのマシンの部品を作っているおもしろい会社がある」と勧めてくれたのが縁ですね。工学部機械学科出身ですが、実際に自動車のエンジンを作るのは初めてでした。ラインで同じ仕事をする量産工場ではなく、試作品を作る当社ではさまざまな部品の仕事がやれ、しかも、それぞれにプロフェッショナルな先輩がいて、なんでも学べるのがうれしいですね。将来はいろんな技術を身につけ、マルチな技術者になりたいと思っています。当社を志望される方は、コミュニケーション力が大切だと思います。現場では知らないことを先輩に尋ねたり、違う部署に仕事のお願いにいったりしますから。

会社データ
【社名】株式会社小金井精機製作所
【事業内容】F1・GP等のルース用及び次世代乗用車、オートバイエンジン主要部品・試作部品や航空機エンジン部品の製造
【本社】〒358-0032 埼玉県入間市狭山ケ原360-1
【資本金】8000万円　【売上高】39億円　【設立】1943年12月　【従業員数】246人

採用情報
【募集職種】生産技術/プログラミング・機械加工/世界最高精度の切削加工
検査/三次元測定・技術営業/自動車OEMメーカー向け
【応募方法】電話又はメールにて直接連絡いただき、会社見学を予約ください。来社の際に必要書類を持参願います。
（履歴書・成績証明書等）
【セミナー情報】本社にて随時実施いたします。予約をお願いいたします。

担当連絡先
〒356-0032 埼玉県入間市狭山ケ原360-1
【担当部署】総務部　【担当者】江川 淳一
TEL：04-2935-2288
http://www.koganeiseiki.co.jp
e-mail:saiyo@koganeiseiki.co.jp

エントリーはこちらから

小金井精機製作所

輸送機器

自動車・バイクの試作エンジン世界一
現場重視の〝人づくり〟

圧倒的な技術力と納期厳守。日本のみならず欧米でも「KOGANEI」は自動車やバイクの試作エンジンのトップブランドだ。カーレースの頂点F1（フォーミュラー1）でも、1980年代以来、有力チームにエンジンの重要部品を提供してきた。培った技術力を活かし、航空機エンジンや火力発電のガスタービンの部品作りにも進出している。

戦中の1943年、航空機部品工場として創業。50年代からホンダのオートバイの部品を手がけたが、「当社はホンダさんに長い間、鍛えられました」と、鴨下祐介社長。エンジンの部品は設計図との寸法の誤差の許容範囲（公差）が千分の1ミリ単位で、「レースには〝公差ゼロ〟の部品が必要だ」という本田宗一郎氏の厳しい注文に応え、信頼を得た。

だが、最新鋭の工作機械だけでは最高の製品はできない。同社が重点を置くのが現場重視の「人づくり」だ。新卒採用は10人程度を予定する。簡単な数学のテストと2回程度の面接で選考するが、「明るく元気でタフ、ものの作りが好きで、世界一の製品を作りたんだという気概があればよい」と鴨下社長は言う。

大学での学科は問わない。実際に文系での採用が半数近い。入社したら工場に配属され、先輩たちに一から学ぶ。徹底したOJT（On the Job Training）で鍛えられるので、予備知識はなくてもいい。〝試作品は注文生産だから、さまざまな商品、工程があり、それを一通りこなしていくうちに〝世界一のもの作り集団〟の一員になっているというわけだ。女性社員は15％近く、主に検査やプログラマーなどの分野で活躍しているという。

海外に工場をおかずメイド・イン・ジャパンにこだわる。海外研修も熱心で、欧州の機械見本市などに年間20人以上を派遣している。ベトナムから十数人の社員を招請しているが、労働人口が減少するなか、まじめで勤勉な彼らは「日本のもの作りの強力な助っ人」という。製作現場ではチームワークが大切だが、サッカー部、野球部、湯けむり山遊会（山登りしたあと温泉でくつろぐサークル）など、クラブ活動も盛んだ。中島敏和・本社工場長は「仕事に対する社員のモチベーションが高いのがたのもしい努力」。鴨下社長は「ガソリンエンジンもまだまだ燃費が求められる。航空機エンジンは私たちにとってチャレンジです。〝技術に終わりはない〟のです」と話す。